

尾原ダム 最高水位到達

ダム本体の工事終了後、本体や基礎地盤の挙動を観測し、放流施設や管理施設などの機能の確認を行うため、試験湛水(しけんたんすい)を実施しています。

この度、3月3日に洪水時最高水位に到達しました。

現在は、常時満水位まで水位を低下させ、試験湛水結果のとりまとめを行っています。



試験湛水(しけんたんすい)実施中

試験湛水では、梅雨や台風期など、洪水のリスクが高い時期を避け、ダムに水を貯めていきます。

下の写真は、洪水時最高水位に到達した時の様子ですが、この先、ダム湖がここまで満水にならないことを期待します。



平成22年11月15日
試験湛水開始時の様子(上流側からダム本体を望む)



平成24年3月3日
洪水時最高水位到達時の様子(上流側からダム本体を望む)



非常用洪水吐きからの試験放流状況

志津見ダム完成(平成23年6月1日)



最高水位到達時の様子(平成23年3月30日)

斐伊川放水路の現在の様子



平成24年度末の完成を目指し工事実施中

大橋川コミュニティセンター

[休館日] 土日祝祭日・年末年始 [開館時間] 9:30~16:00 [駐車場] なし
〒690-0887 松江市殿町383番地
TEL(0852)28-3621 FAX(0852)28-3623

E-mail : info@comisen.jp

ホームページ:<http://www.comisen.jp/>



*大橋川コミュニティセンターは、松江市と島根県、国土交通省出雲河川事務所が共同して管理・運営をしています。

2012.03
Vol.36

刊行/大橋川コミュニティセンター

大橋川通信

玉湯方面から
松江市街地を望む

大橋川改修情報紙

中海と宍道湖は、日本の湖沼の中で5番目と7番目に面積の大きな湖です。この二つの湖沼を繋ぐ大橋川も含め、世界でも類い稀な汽水環境を有しています。

開府400年を迎えた松江市はこの大橋川を中心に栄えた都市で、市民はこの汽水環境が育む自然の恩恵を得ながら水と共に暮らしてきました。大橋川の緑多い川岸やシジミ舟が浮かぶ水面の景観や風情は、水郷を訪れる多くの観光客を魅了する貴重な財産でもあります。

また、古くから文豪が愛する景色があり、市民は宍道湖周辺や大橋川沿川への景観意識が非常に高く、これらにも配慮した河川改修が求められています。

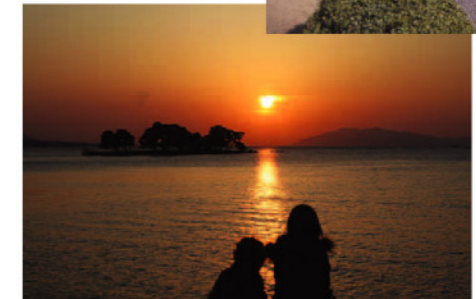
この他、大橋川に注ぐ中小河川改修などの内水対策や、漁業関係者、沿川住民の皆様との協議、工事実施に先だって埋蔵文化財調査や船舶の安全航行に関する調整など、様々な視点で検討を行い、事業を進めています。



水鳥が憩う風景



松江城



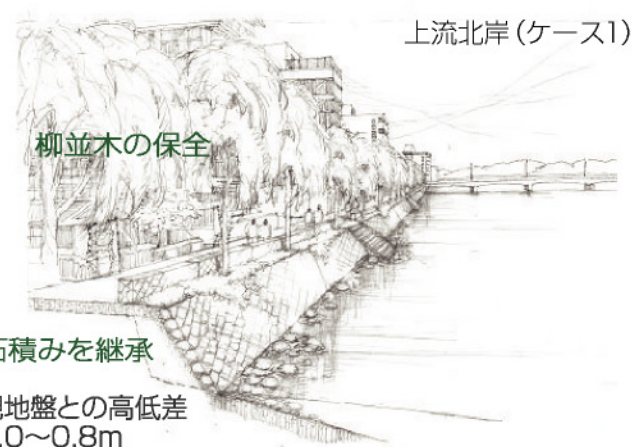
嫁が島と夕日—観光客や市民の憩いの場

検討事項の概要は中面を参照▶▶▶▶▶

景観への配慮

大橋川における堤防の整備については、大橋川の現況景観を継承し、既存堤防・河岸と同様の形状を基本とします。

堤防の整備にあたっては、地元の皆様や専門家からの意見を参考にしながら工事を進めていきます。



※護岸形状及び材質は、今後の治水、まちづくりの検討状況により変更される可能性があります

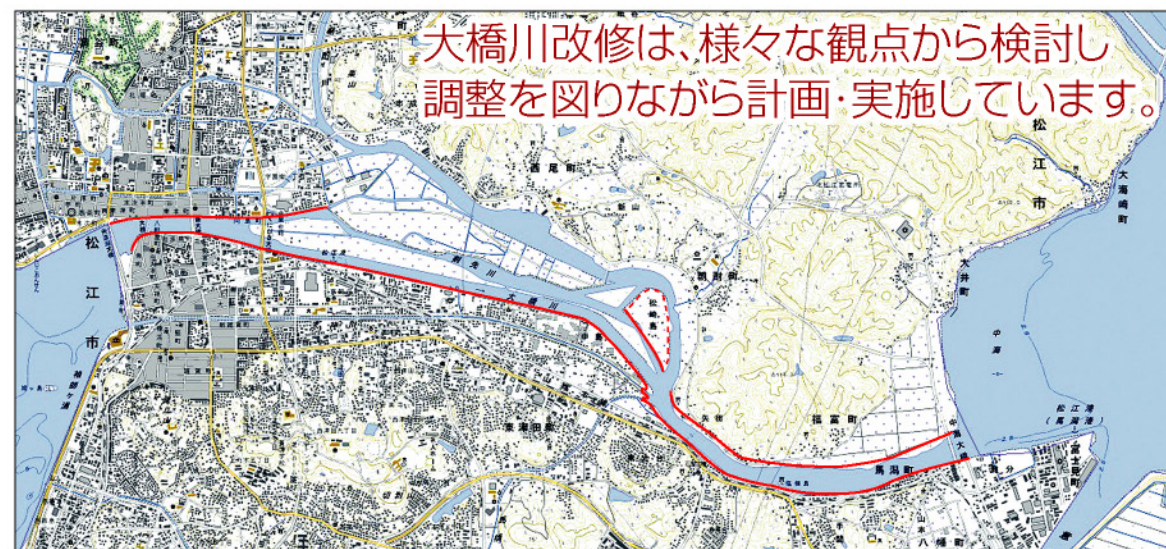
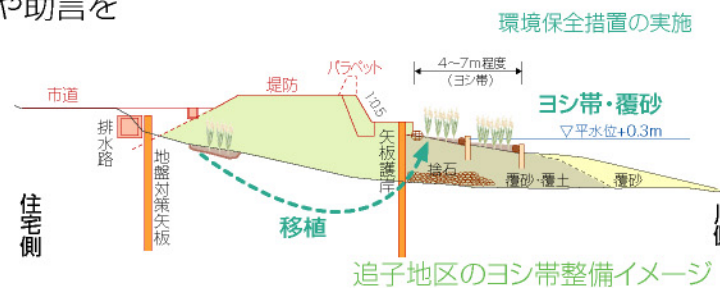
環境への配慮

宍道湖・大橋川・中海は、自然豊かで、ヤマトシジミ等が生息する重要な汽水環境を形成しています。

この汽水環境には貴重な生物が生息し、保全の対象となる貴重な種については、専門家の指導や助言を得ながら、新たな生息・生育・繁殖環境の創出や移植等の保全措置を行います。



モニタリング協議会での検討の様子



内水対策の検討

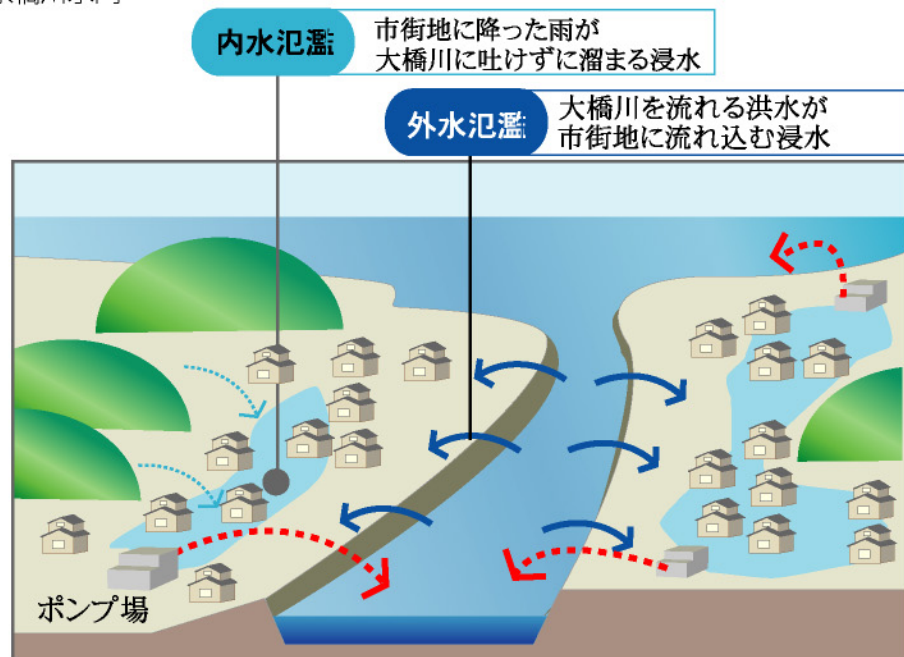
松江市街地を浸水被害から守るためには、大橋川から流れ込む洪水(外水氾濫)と、大橋川に吐けずに溜まる洪水(内水氾濫)の両方に対する対策を講じる必要があります。

島根県と松江市では、内水排除ポンプの増設や中小河川改修など、市街地での内水対策を検討しています。

国の事業である大橋川改修と合わせて、松江市街地を洪水から守るための検討を重ね、外水と内水それぞれ調整を図っています。



京橋川水門



溜まった洪水をポンプで強制的に排除

拡幅工事と中心市街地活性化

大橋川上流拡幅部の白濁地区は、松江市の中心市街地であるため、拡幅工事とあわせて商業・観光などさまざまな方向からまちの活性化を考えていく必要があります。中心市街地の活性化と調和を図った計画とするよう進めていきます。



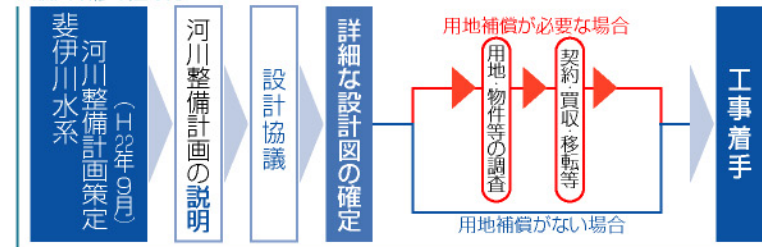
松江市で開催した白濁地区説明会の様子

沿川各地区の皆様との協議

地元の皆様には、これから行う事業について、事業の「目的」や「内容」について説明を行ってまいります。

関連する事業を含め、地元の皆様からのご意見等を伺いながら設計協議を進め、地元の皆様の合意を得ながら詳細な設計図を確定し、用地買収や家屋等の移転などの了解を得て改修工事を進めていきます。

大橋川改修の進め方



住民の方への説明会の様子

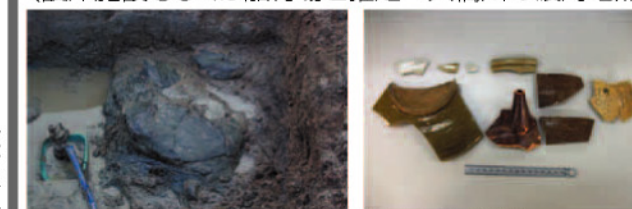
工事実施にあたっての配慮

● 埋蔵文化財調査

工事着手にあたり、埋蔵文化財が存在することが予想される場合には、詳細な埋蔵文化財調査を実施し、確認した上で工事に着手します。

官道下(かんどした)遺跡 (矢田町)

江戸後期から明治時代の石列 (護岸施設もしくは船付場と推定→大橋川の渡河地点)



発見された石列(地表下2m) 出土した遺物

● 船舶の安全確保

「大橋川改修工事安全対策調整会議」により、関係者間での連絡・調整を図り工事中の事故等トラブルが発生しないよう安全対策について十分配慮しながら工事を進めていきます。



巡視船や工事用の船が行き交う様子